

大腸内視鏡検査とは？

★ 大腸内視鏡検査とは

肛門から内視鏡(大腸スコープ)を挿入し、大腸の内側を直接観察することができる検査です。

この検査では大腸がんの他に大腸の炎症・大腸ポリープ・大腸憩室などを調べます。
また、大腸がんの早期発見にもとても有効です。



★ 検査の手順

- ① 大腸の中を空にする必要があるため、検査前日の夜に下剤を服用します。
当日は、腸管洗浄剤を1.2~2ℓ飲み、腸の中を洗い流します。
- ② 大腸内視鏡用検査着に着替えます。
- ③ 検査ベッドに横向きになって寝ます。
※内視鏡を挿入する前に腸の動きを抑える為に注射を行う場合もあります。
- ④ 内視鏡を肛門から挿入します。その際、内視鏡に局所麻酔のゼリーを塗布し挿入していきます。
- ⑤ 検査中、疑わしい病変があった場合は、組織を採取(生検)し病理検査を行う場合もあります。
- ⑥ 検査時間は **30分前後**です。

★ どんな人が検査をすればいいの？

この検査は健康診断の便検査にて陽性の方や下記のような症状のある方が受診すると有効な検査です。



- ① 便潜血検査で陽性が出た
- ② 血便がある
- ③ 便が細い
- ④ 便秘になる
- ⑤ 便秘と下痢を繰り返す などの症状です。

大腸がんは自覚症状のない早期に発見・治療すると、ほぼ100%の人が完治すると言われています。がん危険年齢の40歳を過ぎたら症状がなくても検査を受けることをお勧め致します

その他、この検査でご不明な点がございましたら遠慮なくお尋ね下さいませ。